

(15) 生態系ネットワーク修復による持続的な沿岸漁業生産技術の開発（カレイ類）

予算

農林水産省：農林技術会議プロジェクト研究

結果の概要

本事業では水研および各県・大学と連携して、カレイ類の各生活史段階で利用する生息環境間の繋がりを明らかにし、再生産の阻害要因と好適な生息環境を特定、分断を修復する技術を構築する。さらに、繋がりの再構築と復元力強化に向けた新たな資源管理手法を開発する。

平成 26 年度は生息環境間の移動が分かるカレイ類の調査データを整理するとともに、小型底曳網による大阪湾全域調査を実施、湾内における分布状況を明らかにし、貧酸素水塊等の環境と分布との関係についての解析を開始した。また、大阪府沿岸においてそりネットによるマコガレイ着底稚魚調査を実施、着底の偏りを明らかにした。

担当者

大美博昭、辻村浩隆、稲垣祐太